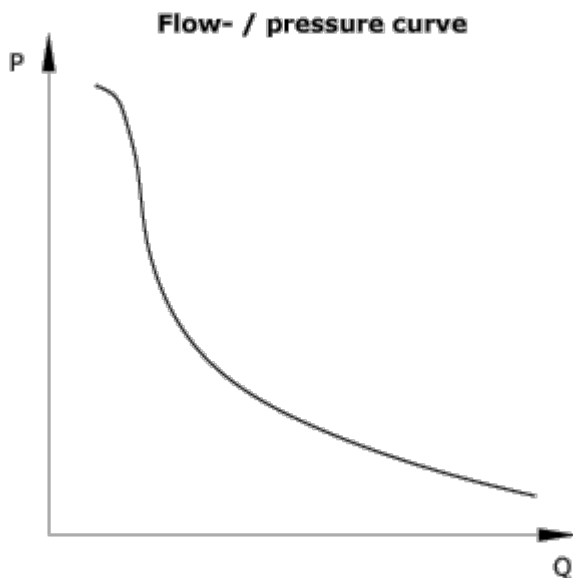




- 大流量 - 低圧力・小流量  
- 高圧力特性
- 利点の要約
- 標準クランプ回路
- 大流量用途
- 流体
- 材質

## miniBOOSTERの一般技術仕様

- ▲ 大流量 - 低圧力・小流量 - 高圧力特性



図に示すように、miniBOOSTER には二重の流量/圧力特性があります。流体は、ブースターに供給された初期には、まっすぐに高圧側に流れます。この時点では、供給された流量(最大許容入口流量になるまで)はすべてアクチュエータに流れ、アクチュエータは必要な方向に素早く作動します。アクチュエータが入口圧力に到達すると直ちに、流れは高圧ピストンで増圧値になるまで供給されます。

温度範囲、オイル: -40-C ~ +120-C

温度範囲、水 +3-C ~ +50-C

最大入口流量: 各モデルの特性データを参照してください。

入口圧力: 最小 20 Bar (290 psi)、最大 200 Bar (2,900 psi) 注記: 出口圧力は 800 Bar (11,600 psi) を超えてはいけません。HC7、HC8、HC9は例外です。

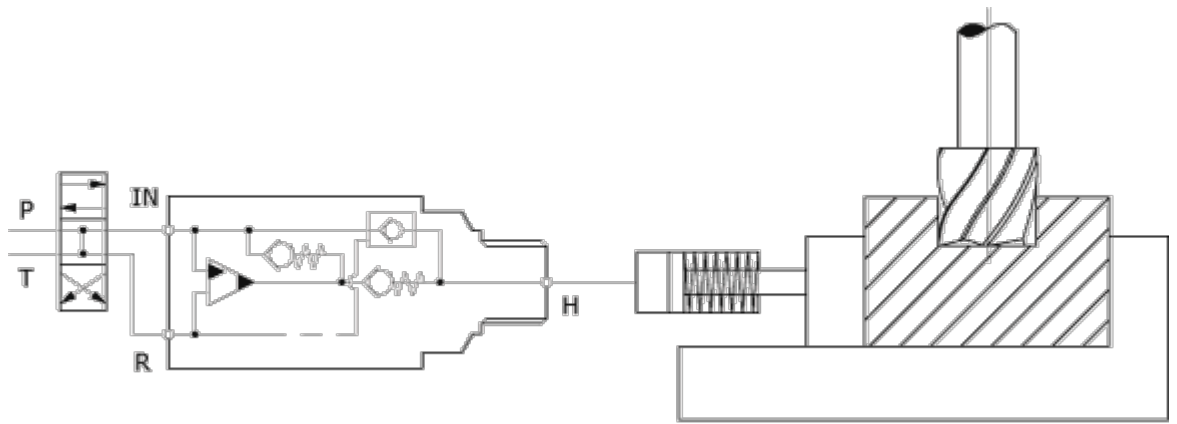
フィルター: 公称 10 ミクロン、最大 19/16、ISO 4406による。

接続: 各モデルのデータを参照してください。

### ▲ 利点の要約:

- 必要時にはいつでも高圧が得られます
- 高価な高圧ポンプは必要ありません
- 管類の費用を節減できます
- 高価な高圧の増加を、安価な低圧の増加だけで実現します
- 低圧から高圧への変化を、エネルギーや熱をほとんど使うことなく実現します
- 高圧側での漏れは、ダイナミックに補償されます
- システムにはラビリンス配管を採用しており、長寿命です
- 回転する部分はありません
- 軽量です
- 小型 - 大きな機能

### ▲ 標準クランプ回路

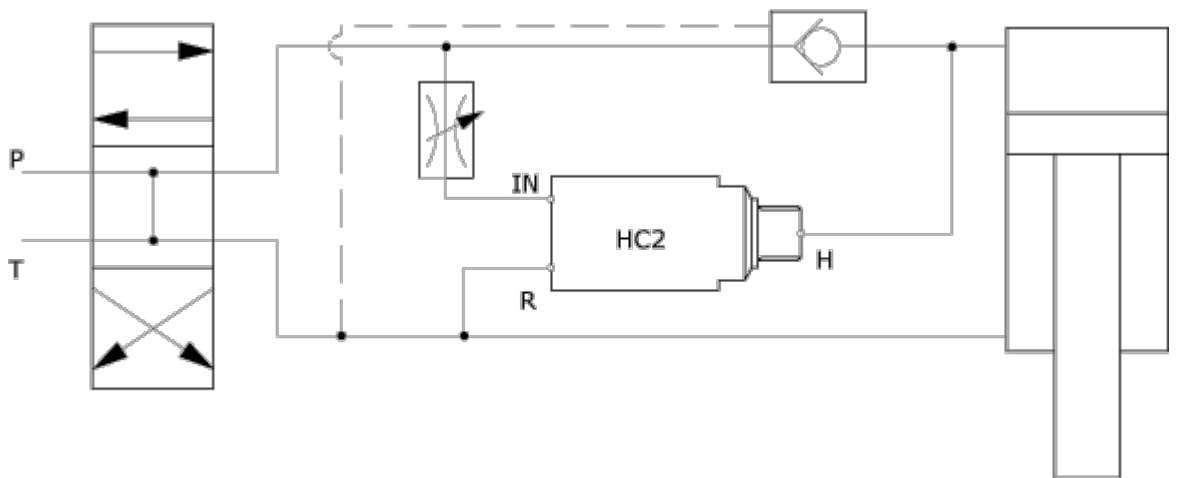


0-103 / 27.01.03

単動シリンダー例。

HC2は、既存の流体回路の増圧に使用されています。マシンセンターで十分なクランプ力を確保するなどがその例です。HC2はワークホールディングシステムに直接取付けることができるため、高圧接続の必要はありません。

▲ 大流量用途



0-104 / 27.01.03

外付けパイロット作動逆止弁使用の例。

ポンプがHC2に最大許容供給流量を超える流量を供給する用途では、HC2をパイロット操作逆止弁と並列に取り付けます。この逆止弁のサイズは、ポンプから供給される流量すべてを流せるものにします。HC2への入口流量は、特定の増圧比に対する最大許容流量までに制限されます。

シリンダーが前方に移動するとき、ポンプからの全流量が使用されます。シリンダーがポンプ圧力に達すると逆止弁が閉じ、HC2を通して終端圧力が増加します。シリンダーは一方通行弁の位置を変えて退避し、それによってポンプをシリンダーの反対側に接続して一方通行弁を開き、流体をタンクに戻します。

▲ 流体

- Buna-N シールに適した作動液およびトランスミッション液。
- 粘度 1~500 cSt (mm<sup>2</sup>/s)
- 水・グリコール混合液 (最少 5% グリコール)
- ご要請により其他媒体
- その他の流体については、技術販売部門にお問合せください。

▲ 材質

- オイル プースター：本体、鋳鉄、内部構成部品、スチール：外部表面、クロム酸亜鉛仕上げ
- 本体および内部構成部品：ステンレススチール 304 W.1.4301 (ただし、HC6D2W はステンレススチール 316 W.1.4404)
- 固定シール、ニトリル、ダイナミックシールはありません

ISO 9001  
BUREAU VERITAS  
Certification

